

サーマルプリンタ

RP-B10 シリーズ

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取り扱い下さい。
お読みになった後も必要なときすぐ見られるよう、大切に保管して下さい。

セイコーインスツル株式会社

U00118053000	2010年	1月
U00118053001	2010年	8月
U00118053002	2011年	5月

©セイコーインスツル株式会社 2010, 2011

無断転載を禁じます。

本書の内容は、断りなく変更することがあります。

SII ● はセイコーインスツル株式会社の登録商標です。

本製品を運用した結果の影響による損失については、当社は一切の責任を負いかねます。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

V C C I - A

本製品は、RoHS指令（2002/95/EC）に適合しております。

はじめに

このたびは、サーマルプリンタ RP-B10 シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書では、RP-B10 サーマルプリンタ（以後、プリンタと呼びます）や指定 AC アダプタ、指定 AC ケーブルなどのオプション製品の取り扱い方法について、説明しています。

ご使用の前に、必ず「安全上の注意」「お取り扱い上の注意」をよくお読みの上、プリンタを安全に正しくお取り扱い下さい。

この取扱説明書は、お読みになった後も、必要な時すぐに見られるよう、大切に保管して下さい。

プリンタの詳細な機能や仕様については、技術説明書を参照して下さい。

この取扱説明書の構成は次のようになっています。

はじめに.....	1
安全上の注意	2
お取り扱い上の注意.....	6
1 準 備.....	8
2 機種分類	9
3 各部の名称.....	10
4 電源の接続方法	13
5 感熱紙のセット方法	14
6 感熱紙の残量検出の調整	17
7 紙ジャムの予防と除去方法	19
8 テスト印字.....	22
9 機能設定	23
10 ホスト装置と接続する	29
11 58mm紙幅用パーテーションプレートのセット方法.....	31
12 サーマルヘッドのメンテナンス.....	32
13 困った時に	33
14 仕様.....	34
15 オプション製品、消耗品構成	37

安全上の注意

本書では、本製品を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意事項を喚起しています。

これらの記号表示の意味は次のとおりです。内容をよく理解して、これらの記号が表示されているところの記載事項については、必ずお守り下さい。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています。



⊘ 記号は、禁止行為であることを告げるものです。
左の表示例は「分解禁止」を表しています。



● 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。
左の表示例は「AC プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。

■ご使用上の注意

警告

	プリンタ、AC アダプタ、AC ケーブル、は法規制に適合している国でのみご使用下さい。 製品安全を確保できない危険がある上、法規違反に問われる場合があります。
	次のような場合は、電源を OFF にしてから AC プラグをコンセントから抜いて下さい。 ◆ 異常状態から回復できない時 ◆ 異臭がする、煙が出た、異常に熱い、または異常音の発生など通常と異なる時 ◆ 内部や隙間に、金属片や水などの異物が入った時 ◆ ケースが壊れた時 火災や感電の原因になります。販売元に修理をご依頼下さい。
	内部や隙間に金属片や水などの異物をいれないで下さい。 火災や感電の原因になります。
	分解や改造をしないで下さい。また、ご自分で修理をしないで下さい。 火災、事故や故障の原因になります。
	指定の AC アダプタ、AC ケーブル以外は使用しないで下さい。 破裂、発火、発熱のおそれがあり、火災や事故の原因になります。
	AC アダプタは、指定された電源電圧以外で使用しないで下さい。 火災、事故や故障の原因になります。
	出力端子やコネクタの金属部に触れたり、ショートさせないで下さい。 火災、事故や故障の原因になります。
	水分のかかる可能性のある場所に置いたりして濡らさないで下さい。 火災、事故や故障の原因になります。
	濡れた手で触れないで下さい。 感電の原因になります。
	AC アダプタや AC ケーブルが傷んだ場合は、AC プラグをコンセントから抜いて下さい。 火災、感電や故障の原因になります。 販売元に修理をご依頼下さい。
	AC アダプタや AC プラグに、ほこりや金属物を付着させないで下さい。 火災や感電の原因になります。
	AC プラグの差込みが不完全な状態で AC アダプタを使わないで下さい。 火災や感電の原因になります。
	AC アダプタの AC ケーブルやプラグを破損させないで下さい。AC ケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを載せたり、ひっぱったり、ねじったりしないで下さい。 火災、感電や故障の原因になります。
	AC アダプタの AC ケーブルをコンセントから抜く時はプラグ部分を持って抜いて下さい。 ケーブルの芯線が露出あるいは断線したりして、火災や感電の原因になります。



プリンタが入っていた袋は、お子様がかぶらないように保管または廃棄して下さい。
かぶると窒息の恐れがあります。

⚠ 注意

	長期間使用しない場合は、電源を OFF にしてから AC プラグをコンセントから抜いて下さい。 火災や感電の原因になります。
	お手入れの際は、電源を OFF にしてから AC プラグをコンセントから抜いて下さい。 火災や感電の原因になります。
	乳幼児の手の届かないところに置いて下さい。 ケガなどの原因になります。
	以下のような場所で使用、保管しないで下さい。 感電、火災や故障、ケガの原因や製品やシステムに悪影響を及ぼすことがあります。 ◆ 直射日光の当たる場所、高温になる場所 ◆ 湿気や埃の多い場所、水分のかかる可能性がある場所 ◆ 振動の激しい場所、不安定な場所 ◆ 静電気や強い磁界が発生する場所 ◆ 油、鉄分の多い場所 ◆ 漏電や漏水の危険がある場所 ◆ 腐食性ガスやシロキサン雰囲気のある場所
	使用中は、上に布などをかぶせないで下さい。 火災や故障の原因になります。
	印字直後は、サーマルヘッドが高温になっていることがありますので、絶対に触らないで下さい。紙ジャム除去やヘッドクリーニングは、サーマルヘッドが冷えていることを確認してから行って下さい。 ケガの原因になります。
	感熱紙を交換する時など、ペーパーカバー開放時にはサーマルヘッド、ペーパーセンサ、プラテンローラに直接手を触れないようにご注意下さい。 ケガや故障の原因となります。
	紙排出口にはカッタの刃がありますので、指などを入れないで下さい。 ケガの原因となります。
	アッパーカバーの中にはカッタの刃がありますので、カッタの刃には直接手を触れないで下さい。 ケガの原因となります。
	プリンタの動作中に髪の毛等の巻き込まれやすいものをプリンタに近づけないで下さい。 プリンタ内部に引き込まれ、ケガの原因となります。

お取り扱い上の注意

プリンタの性能を発揮、維持するためには、次のことに注意して正しくお使い下さい。

■ ご使用に際して

- ◆ 落としたり、ぶついたりして衝撃を与えないで下さい。
- ◆ 直射日光が当たる場所には置かないで下さい。
周囲の温度や湿度に気を付けて下さい。
使用に適した環境は次のとおりです。
 - ・ 温度の範囲：5～45℃
 - ・ 湿度の範囲：10～90%RH（紙厚：65～75 μ m、結露しないこと）
35～85%RH（紙厚：上記以外、結露しないこと）各温度での保証可能湿度は技術説明書を参照して下さい。
- ◆ AC アダプタや AC ケーブルは、ノイズを発生する装置と同じコンセントに接続しないで下さい。
- ◆ 印字中及び切断中はアッパーカバーを開放しないで下さい。
- ◆ 印字中及び通信中にインタフェースケーブルの着脱はしないで下さい。また、印字中にインタフェースケーブルのコネクタ部分には触らないで下さい。
- ◆ 使用にならない時は、電源を OFF にして下さい。
さらに長時間使用しない場合は、AC プラグをコンセントから抜いて下さい。また、プラテンローラ保護の為、感熱紙をセットして下さい。
- ◆ プリンタのケースが汚れている時は柔らかい布で汚れを拭き取って下さい。アルコールなどの溶剤は使用しないで下さい。
- ◆ 各接続端子が汚れている時は、使用になる前に乾いた柔らかい布で汚れを拭き取って下さい。汚れていると接触不良の原因になります。
- ◆ サーマルヘッドには直接触れないで下さい。汚れによる印字品質の低下や静電気による破損の恐れがあります。
- ◆ サーマルヘッドに水分が付着した状態で使用しないで下さい。故障の原因となります。
- ◆ サーマルヘッドクリーニング時は、必ず綿棒などのやわらかいもので拭いて下さい。
- ◆ AC アダプタは使用中に若干熱を持つことがありますが異常ではありません。
- ◆ 低温環境や高印字率で印字を行った場合、印字に乱れが生じたり、印字音が大きくなる場合があります。ただし、これは感熱紙の性質上発生する現象であり、プリンタの故障ではありません。
- ◆ プリンタ取り扱いの際には、静電気に十分ご注意下さい。静電気が放電されると、USB 通信が切断されることがあります。この問題が発生した場合、プリンタに接続されている USB コネクタをホスト装置より取り外し、数秒の時間をあけ再度接続して下さい。
- ◆ 感熱紙をセットしない状態での印字はしないで下さい。
- ◆ 内部へクリップ、虫ピン、ネジ等の異物などを落としたり入れたりしないよう注意して下さい。
- ◆ プリンタに液体などをこぼしたり、薬剤などを吹きかけたりしないで下さい。
- ◆ 操作パネル部の操作はペン先などの鋭利なものでは絶対に行わないで下さい。
- ◆ 感熱紙同士をセロハンテープ等でつなぎ合わせての継続使用はしないで下さい。
- ◆ 紙セット状態で、感熱紙を無理に手で引張ったりすることは絶対にしないで下さい。
- ◆ 鋳金のエッジ部等で、身体や他の物を傷つけないように注意して下さい。

- ◆ 使用中に異常が発生したら直ちに使用を中止し、DC ジャックや AC プラグをコンセント等から抜いて下さい。
- ◆ サーマン以外、プリンタの分解等を行わないで下さい。
- ◆ アッパーカバー等の開閉時に手や指等をはさまないようにして下さい。
- ◆ RJ コネクタが設けられていますが、これは DK（ドロワーキック）用コネクタです。電話回線には接続しないで下さい。
- ◆ プリンタはメッキ鋼板を使用しているため、端面にサビが発生することがあります。

■感熱紙のお取り扱いについて

- ◆ 乾燥した冷暗所に保存して下さい。
- ◆ 固いもので強くこすらないで下さい。
- ◆ 有機溶剤の近くに置かないで下さい。
- ◆ 塩化ビニルフィルム、消しゴムや粘着テープに長時間接触させないで下さい。
- ◆ 複写直後のジアゾコピーとは重ねないで下さい。
- ◆ 糊付けする時は化学糊を使わないで下さい。
- ◆ 感熱紙は必ず指定感熱紙をお使い下さい。指定感熱紙については、「15 オプション製品、消耗品構成」を参照して下さい。

■廃棄時の注意事項

ご使用済みのプリンタを廃棄する時は、各自治体の条例または規則に従って廃棄して下さい。

■表記について

次のページ以降では、「安全上の注意」で示した記号のほか、取り扱い上の注意事項や知っておいていただきたい事項を、以下のように表記して区分しています。

注 意

- ◆ 取り扱い上の注意事項

守らないと、プリンタの性能を発揮できない、またはプリンタの故障の原因となる注意事項です。

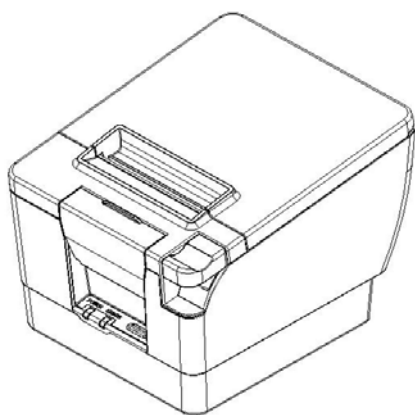
ヒント

- 知っておいていただきたい事項

プリンタの性能や、操作する上で知っておいていただきたい事項を説明しています。

1 準 備

梱包を解きましたら、プリンタ本体と付属品が入っていることを確認して下さい。



本体



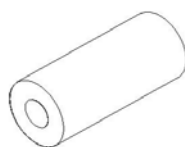
取扱説明書/安全上の注意/各種ソフトウェア
(CD-ROM) 1 枚



58mm 紙幅用パーテションプレート



USB ケーブルロック
(USB モデルのみ)

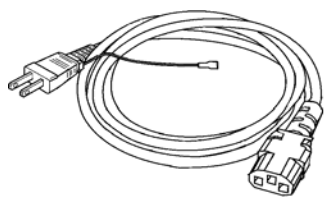


サンプル感熱紙

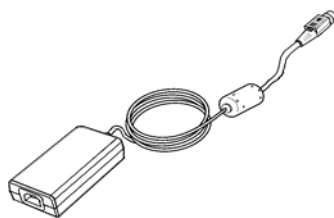
また、予め AC アダプタならびに AC ケーブルを同梱したモデルも用意されています。

梱包箱と梱包材は、再輸送や長期保管の時にご使用できますので、大切に保管して下さい。
オプション製品には、以下のものが用意されています。

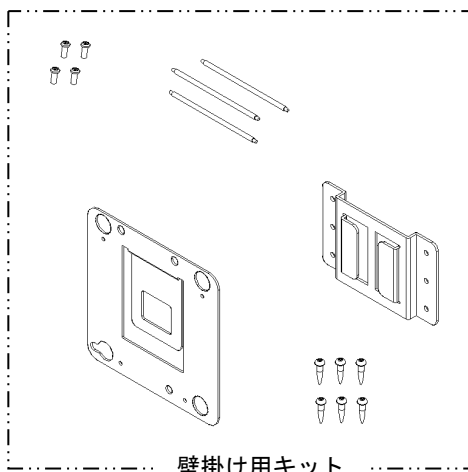
(同梱機種もありますので、詳細は「2 機種分類」を参照して下さい。)



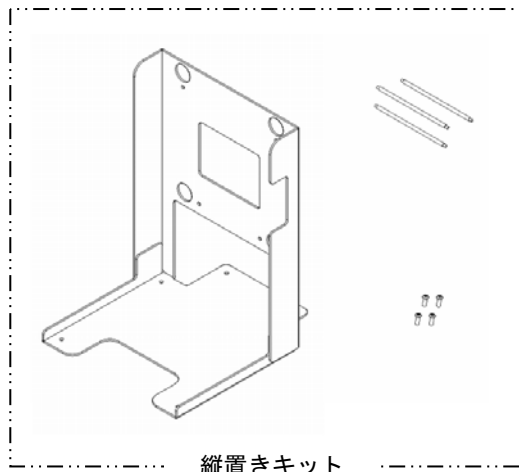
指定 AC ケーブル



指定 AC アダプタ



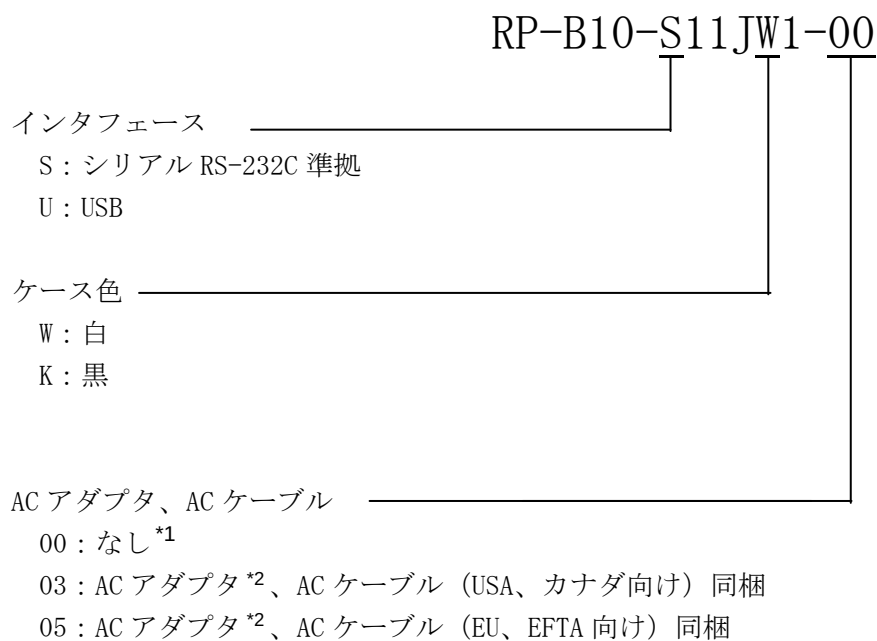
壁掛け用キット



縦置きキット

2 機種分類

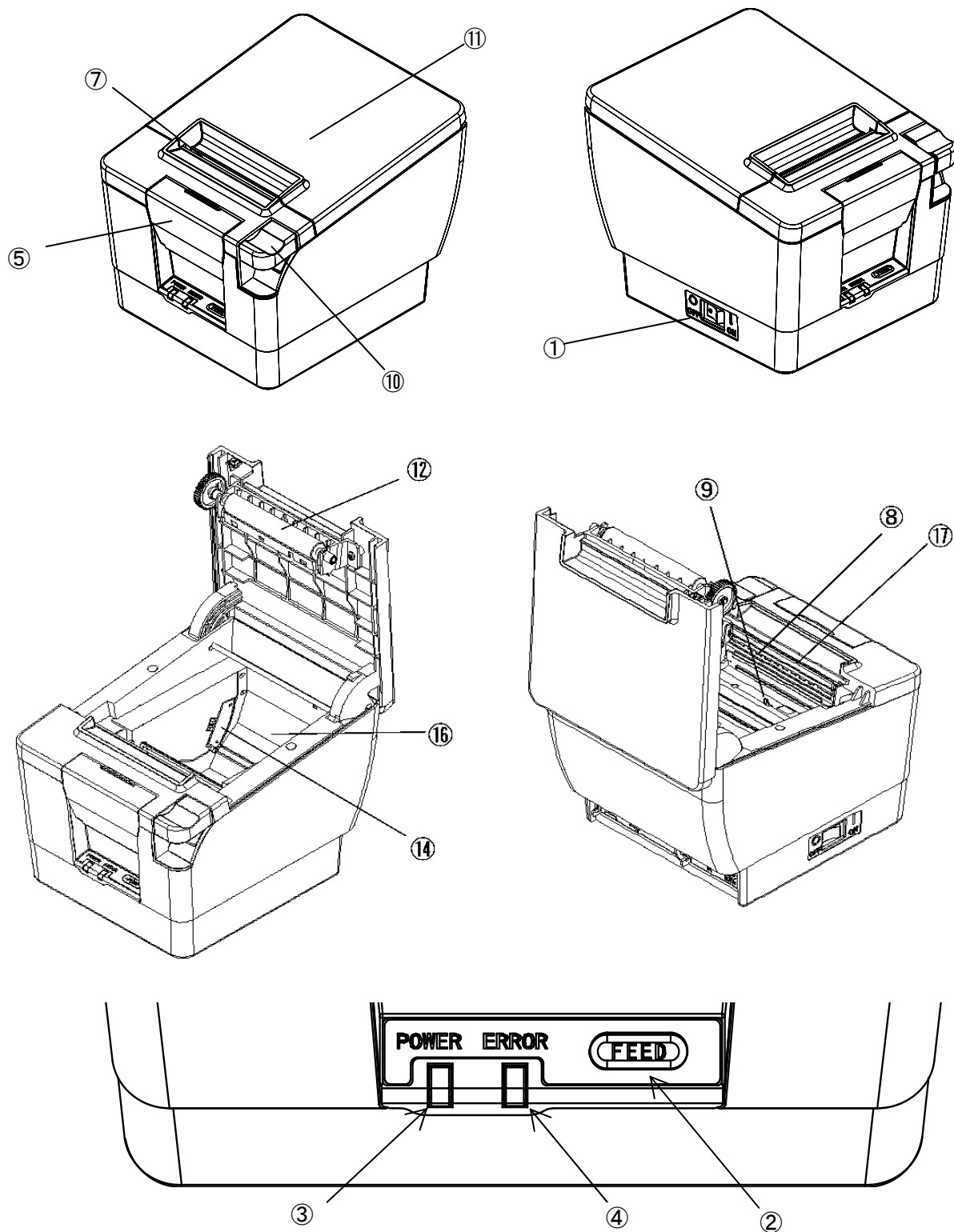
下記の形式呼称方法により区分されます

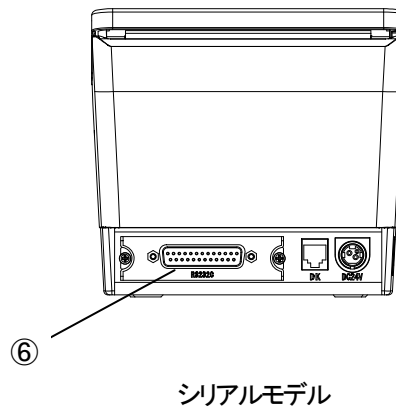
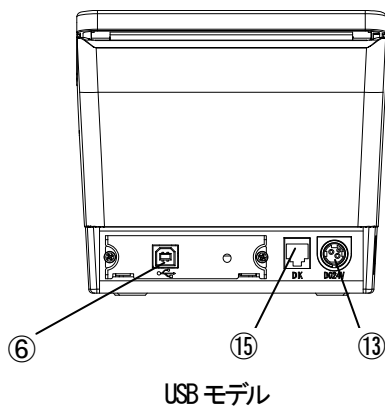


^{*1}: お客様の装置から電源を供給いただく場合は、RP-B10 の入力定格は「14 仕様 プリンタ仕様」の入力定格の項、並びに「RP-B10 シリーズサーマルプリンタ技術説明書 2.4 電源仕様」に従って下さい。
指定 AC アダプタ以外の電源を使用する場合は、使用する国の安全及び EMC の規制に適合するよう、ご使用されるお客様の方で対処して下さい。

^{*2}: AC アダプタはユニバーサルタイプです。

3 各部の名称





①電源スイッチ

電源の「ON」「OFF」を切り替えるスイッチです。電源を ON にすると POWER ランプが点灯します。

②FEED スイッチ

感熱紙の順方向送りのスイッチです。押し続けると、感熱紙が連続して送り出されます。

③POWER ランプ

電源を ON にすると点灯します。詳しくは次ページの「ランプ表示」を参照して下さい。

④ERROR ランプ

プリンタに異常が起こった時に点灯します。詳しくは次ページの「ランプ表示」を参照して下さい。

⑤カッターエマージェンシーカバー

カッターエラー発生によりオートカッターが切断中にモータロックした場合、開けるカバーです。カバーを開放して中にあるギアを回転させることでモータロックを解除します。

⑥インタフェースコネクタ

インタフェースケーブルを接続します。

⑦紙排出口

感熱紙が排出されます。オートカッターが取り付けられています。

⑧サーマルヘッド

感熱紙にデータを印字します。印字直後は高温になりますので、注意して下さい。

⑨ペーパーセンサ

感熱紙の有無検出用のセンサです。

⑩プラテンオープンレバー

感熱紙をセットする際、アッパーカバーを開けるためのレバーです。

⑪アッパーカバー

このカバーを開けるとプラテンローラが感熱紙から離れます。感熱紙の交換やサーマルヘッドをクリーニングする時に開けて下さい。

⑫プラテンローラ

感熱紙とサーマルヘッドを密着させます。回転することにより感熱紙の紙送りを行います。

⑬電源コネクタ

AC アダプタを接続します。

⑭ペーパーニアエンドセンサ

感熱紙の交換時期を検出するセンサです。感熱紙の外径により設定レバーの位置を設定します。

⑮RJ コネクタ

ドロワーキック用コネクタです。電話回線には接続しないで下さい。

⑯ペーパーホルダ

感熱紙をセットします。

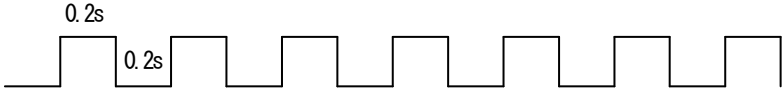
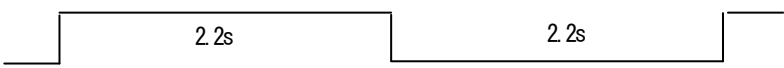
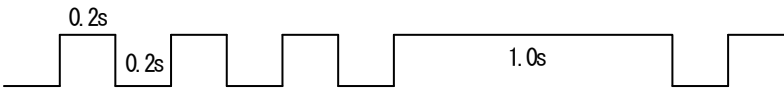
⑰オートカッター

印字終了時に自動で紙をカットすることができます。カット方法はパーシャルカットです。

「ランプ表示」

ランプ表示内容	POWER ランプ(緑)	ERROR ランプ(橙)
電源「OFF」	消灯	消灯
電源「ON」 (印字待機時)	点灯	消灯
ペーパーニアエンド	点灯	点滅-1
紙無し	点灯	点灯
アッパーカバー開放	点灯	点灯
サーマルヘッド温度エラー	点灯	点滅-2
カッターエラー/ブラックマーク検出エラー	点灯	点滅-3

「表示パターン」

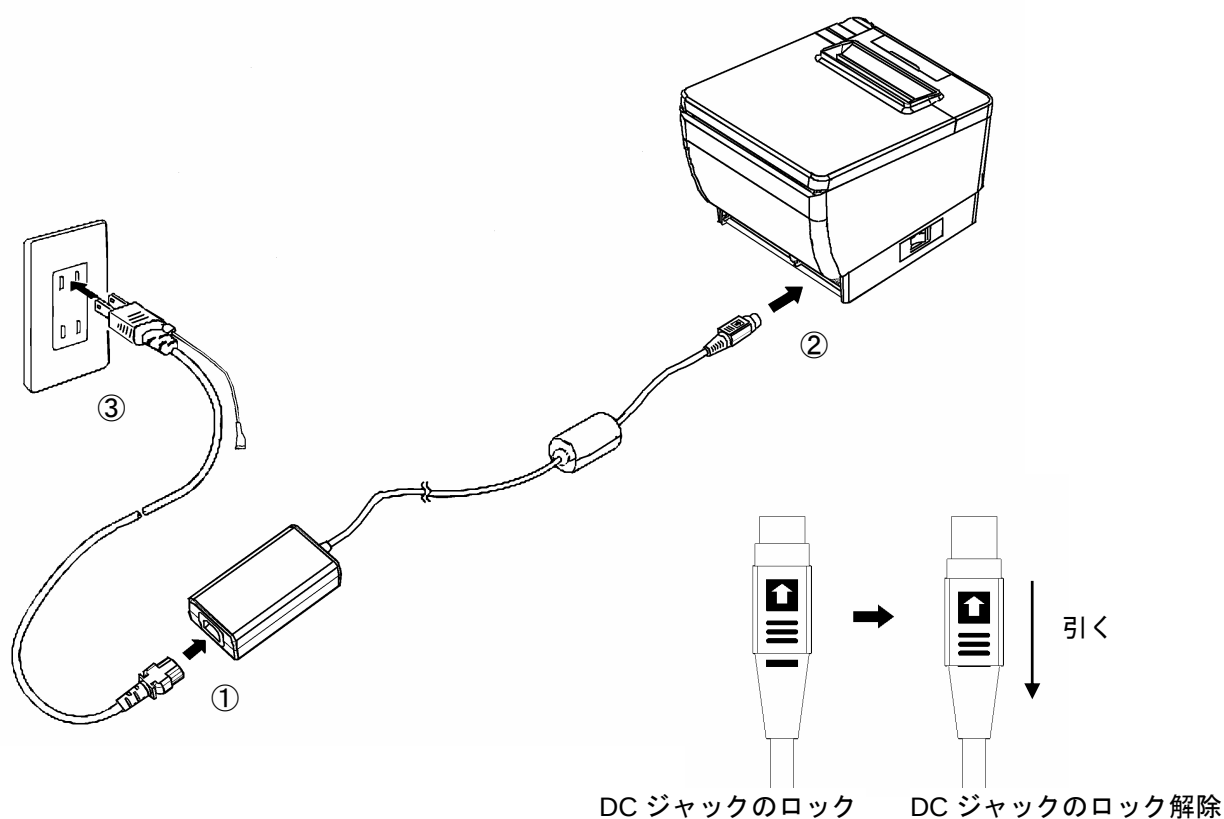
状態	パターン
点滅-1	ON 
点滅-2	ON 
点滅-3	ON 

4 電源の接続方法

本プリンタの電源供給はACアダプタを使用します。
ACアダプタについては必ず「14 仕様」をご参照下さい。

■ACアダプタの接続

- ① ACアダプタにACケーブルを接続して下さい。
- ② プリンタの電源コネクタにACアダプタのDCジャックを差し込んで下さい。
- ③ ACケーブルのACプラグをコンセントに差し込んで下さい。



注 意

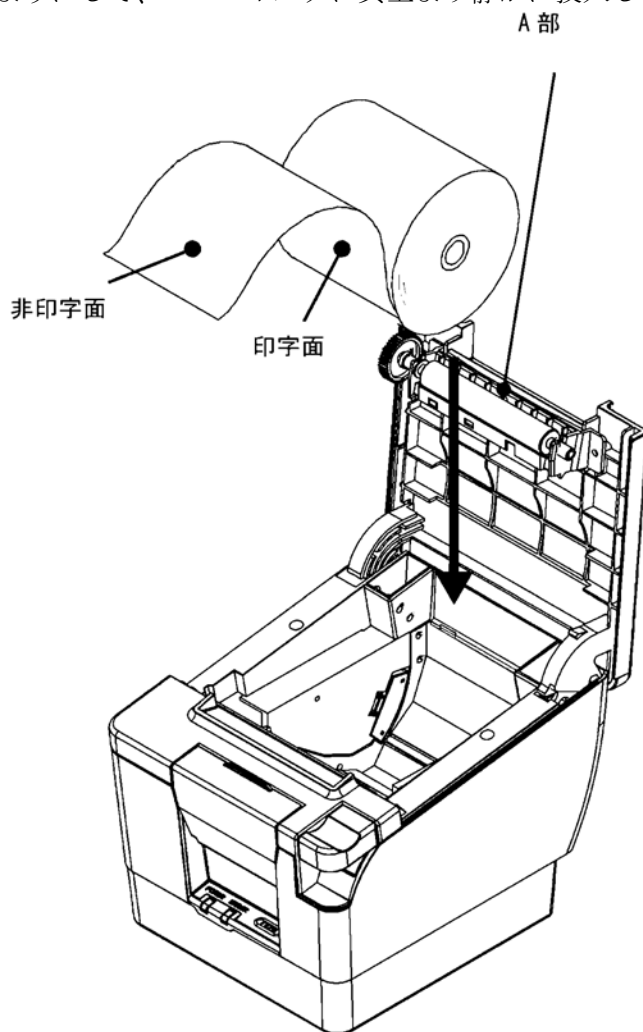
- ◆ プリンタの電源コネクタのDCジャック部分は、ロック式となっております。
DCジャックの表側に示された矢印と反対方向に引くことによってロックが解除されます。
DCジャックの着脱を行う時は、図のようにロックを解除してから着脱を行って下さい。
- ◆ ACアダプタの着脱を行う時は、プリンタの電源をOFFにしてから行って下さい。
- ◆ 長時間使用しない時はACケーブルをコンセントから抜いて下さい。

5 感熱紙のセット方法

本プリンタは、感熱ロール紙（以後、感熱紙とします）を使用します。ただし、使用する感熱紙によってプリンタの機能設定が異なりますので、詳細は「9 機能設定」を参照して下さい。

■感熱紙のセット方法

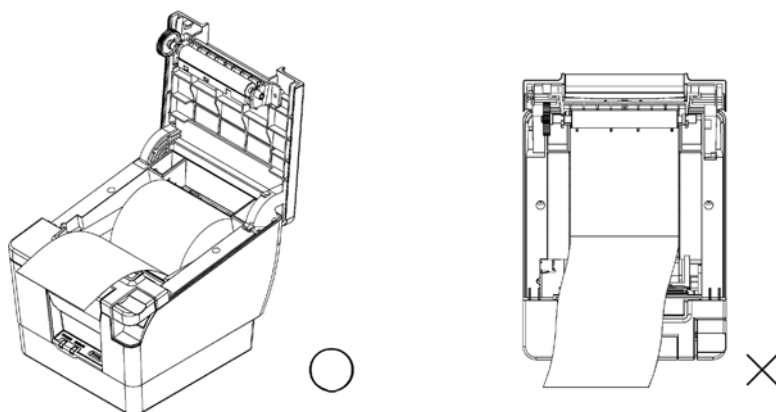
- ① プラテンオープンレバーを押し、アッパーカバーを開けます。
- ② 感熱紙の糊つけ部をはがして下さい。
- ③ 感熱紙の方向を図のようにして、ペーパーホルダに真上より静かに投入して下さい。



— 注 意 —

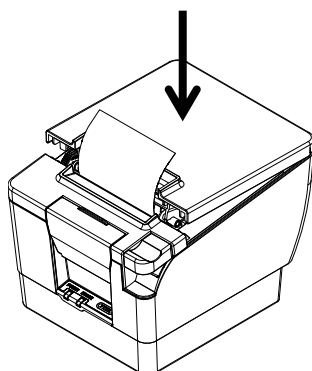
- ◆ オートカッタの刃（A部）で手を切らないように注意して下さい。

- ④ 感熱紙をまっすぐに引き出し、アッパーカバーの上面中央付近をしっかりと押し、片閉まりしないようにアッパーカバーを閉めて下さい。



注意

- ◆ 感熱紙はまっすぐに引き出して下さい。



注意

- ◆ アッパーカバーの上面中央付近をしっかりと押し、片閉まりしないようにアッパーカバーを閉めて下さい。

- ⑤ アッパーカバーを閉めると、自動的に紙送りならびに紙切断が行われます。

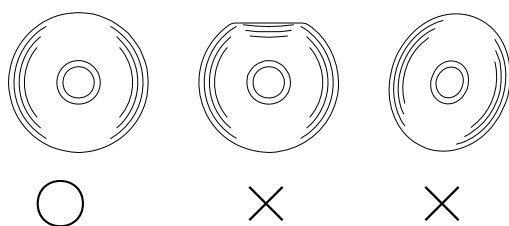
注意

- ◆ プラテンオープンレバーは当たるまで押して下さい。当たるまで押さないとアッパーカバーが開かないことがあります。
- ◆ 紙排出口を塞いだり、出てきた感熱紙を押さえつけたりしないで下さい。紙ジャムの原因になります。
- ◆ プラテンローラ及びプリンタのギアには触れないようにして下さい。印字品質の低下や、故障の原因になる場合があります。
- ◆ 感熱紙は、内径Φ12mm、外径Φ18mmの芯で、終端が糊付けやテープ止めをしていないものを使用して下さい。

ヒント

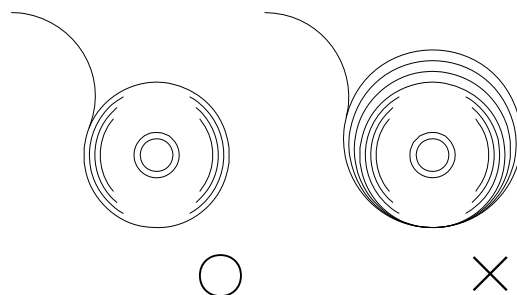
- 感熱紙を本体にセットしたままで長時間放置すると、周辺環境の変化を受け、感熱紙の表面がサーマルヘッドに貼り付き、感熱紙を搬送できない場合があります。この場合には、一度、ペーパーカバーを開いて、サーマルヘッドと感熱紙の密着状態を解除し、再度ペーパーカバーを閉じてからお使い下さい。

■感熱紙の推奨形状



注 意

- ◆ 使用する感熱紙は変形がないものを使用して下さい。変形したものを使用すると故障の原因となります。



注 意

- ◆ セットした感熱紙にたるみ（解け）がある場合は、たるみ（解け）を取り除いて下さい。

6 感熱紙の残量検出の調整

本プリンタは、ペーパニアエンドセンサにより、感熱紙が少なくなった（ペーパニアエンド）状態を検出します。

ペーパニアエンドを検出しましたら早めに新しい感熱紙と交換して下さい。

■残った感熱紙の取り出し方

- ① プラテンオープンレバーを押し、アッパーカバーを開けます。
- ② 残った感熱紙を取り出して下さい

■ペーパニアエンドの位置変更

次の手順でペーパニアエンド検出値を変更することができます。

プリンタの設置状況に合わせてニアエンドセンサの位置を設定して下さい。

出荷初期設定では約 $\phi 22 \pm 2\text{mm}$ （A 位置）となっています。

— 注 意 —

- ◆ 印字速度が速いため、小径（約 $\phi 24\text{mm}$ ）時には印字内容により感熱紙が引っ張られ正しく検出できない場合があります。
- ◆ ペーパニアエンド検出値は参考値であり、目安です。

- ① プリンタの電源スイッチを OFF（○印側：以下省略）にして、DC ジャックを抜いて下さい。

— 注 意 —

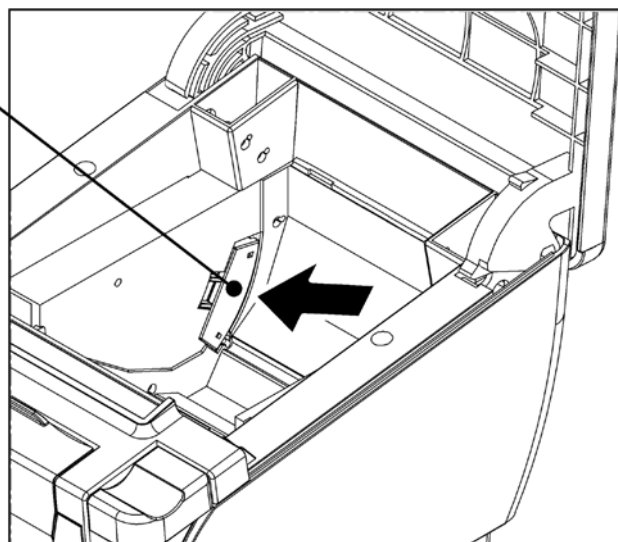
- ◆ DCジャックを抜く時に指がプリンタのアンダーカバーに当たらないように注意して下さい。

- ② ペーパニアエンドセンサを矢印方向（プリンタ側面方向）に押した状態で、A～D の設定位置に移動し手を離して下さい（クリック位置で固定します）。

— 注 意 —

- ◆ 設定レバーはペーパホルダ壁面と同一面になっている事を確認して下さい。
- ◆ 紙残量（残り径）は紙種類等により大きく変化します。目安値として取り扱って下さい。
- ◆ ペーパニアエンド検出量は感熱紙の紙幅やプリンタの個体差で若干変化します。

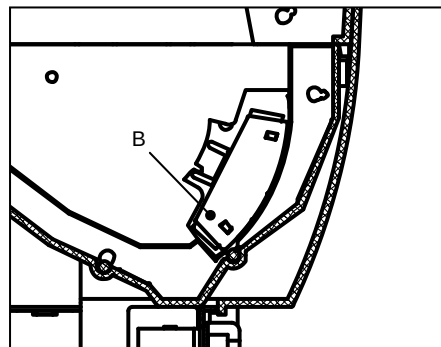
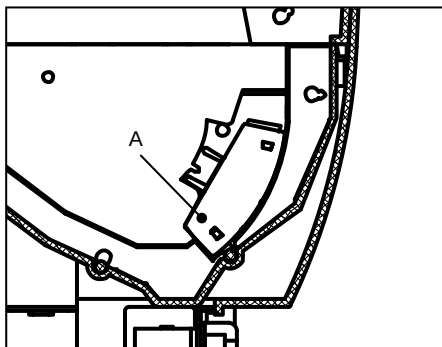
ペーパーニアエンド
センサ



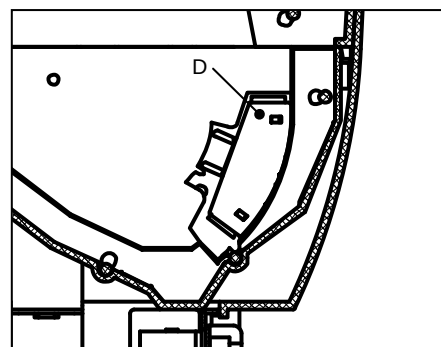
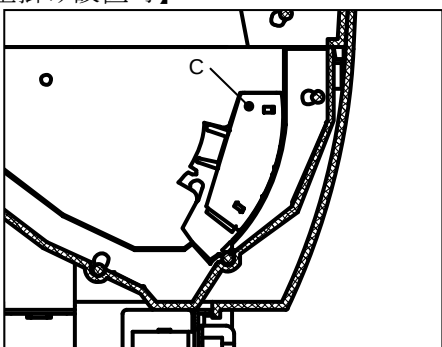
矢印方向に押した状態で
下図のA～Dの
設定位置に移動

・ペーパーニアエンドセンサ位置

【水平置時】



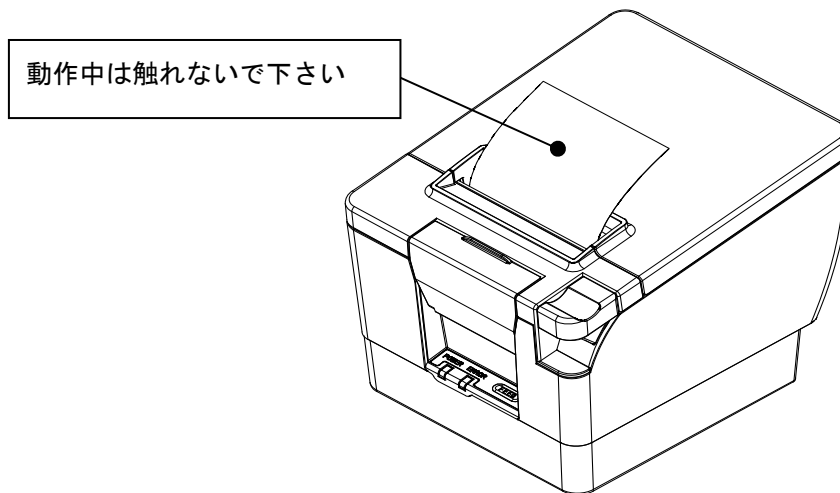
【縦置き・壁掛け設置時】



ペーパーニアエンドセンサ位置	ペーパーニアエンド検出外径
A	$\phi 22 \pm 2\text{mm}$ (水平置時)
B	$\phi 25 \pm 2\text{mm}$ (水平置時)
C	$\phi 22 \pm 2\text{mm}$ (縦置き、壁掛け設置時)
D	$\phi 25 \pm 2\text{mm}$ (縦置き、壁掛け設置時)

7 紙ジャムの予防と除去方法

感熱紙は排出中や切断終了前に触れないで下さい。排出中に手で押さえたり、引っ張ったりすると紙ジャムや切断不良、または改行不良の原因になります。切断中にアッパーカバーは絶対に開けないで下さい。



■紙ジャムの除去方法

紙ジャムが発生した場合、次の手順で感熱紙を除去して下さい

- ① プリンタの電源を OFF にします。
- ② プラテンオープンレバーを押して、アッパーカバーを開けて下さい。

ヒント

- 開かない場合はカットエラーが考えられます。（カットエラー除去方法を参照）

- ③ つまった感熱紙を取り除いて下さい。

注意

- ◆ 感熱紙を取り除く時はプリンタを破損しないように注意して下さい。
特にサーマルヘッドは破損しやすい部品なので、触れないように注意して下さい。

- ④ 感熱紙をまっすぐにセットして、アッパーカバーを静かに閉じて下さい。
- ⑤ 電源スイッチを ON（|印側：以下省略）にして、プリンタの電源を投入して下さい。
- ⑥ 正常に復帰した場合、ERROR ランプが消灯します。

注意

- ◆ 印字直後は、サーマルヘッドが高温になっていることがありますので、絶対に触らないで下さい。

■ カッターエラー除去方法

カッターエラー発生によりオートカッターが切断中にモーターロックし、アッパーカバーが開かない場合は、次の手順で復帰して下さい。

— 注 意 —

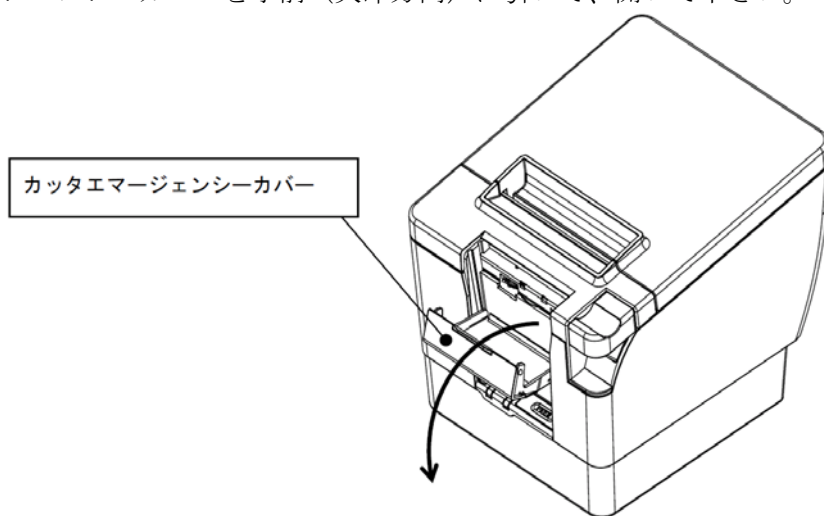
- ◆ カッターエラーによりカッターの刃が出たままですでに止まった場合、プラテンオープンレバーを押してもアッパーカバーは開きません。
無理に開けようとすると故障の原因になります。

- ① プリンタの電源を OFF にします。

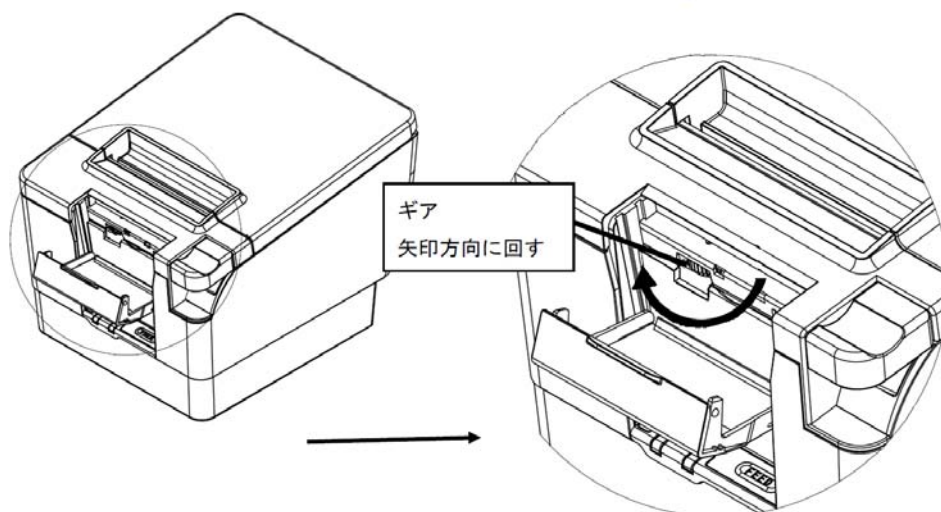
— 注 意 —

- ◆ カッターを保守する時は危険ですので必ず電源をOFFにしてから行って下さい。

- ② カッターエマージェンシーカバーを手前（矢印方向）に引いて、開いて下さい。



- ③ 紙排出口を覗きながら、指でギアを回して通紙スペースより可動刃をホームポジションに（可動刃が見えなくなるまで）移動させます。



- ④ カッターエマージェンシーカバーを閉め、プラテンオープンレバーを押してアッパーカバーを開け、速やかに紙ジャムを排除して下さい
- ⑤ 感熱紙をまっすぐにセットして、アッパーカバーを静かに閉じて下さい。
- ⑥ 電源スイッチを ON にして、プリンタの電源を投入して下さい。

⑦ 正常に復帰した場合、ERROR ランプが消灯します。

注 意

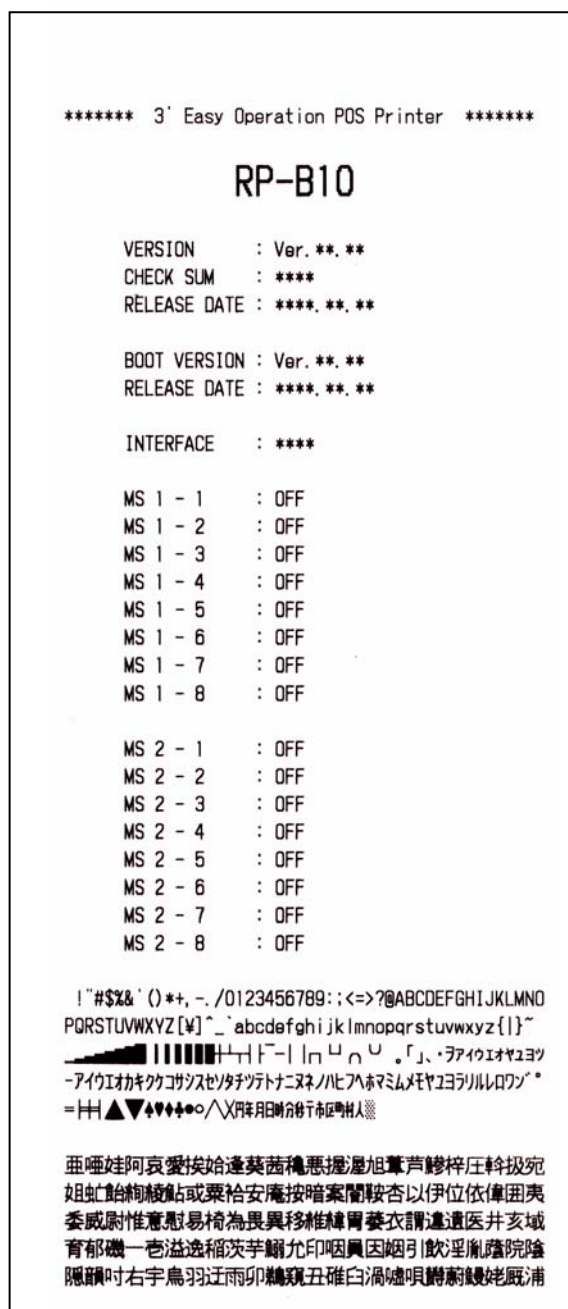
- ◆ 紙ジャムを取り除く時はプリンタを破損しないように注意して下さい。
特にサーマルヘッドは破損しやすい部品なので、触れないように注意して下さい。
- ◆ オートカッタの刃などで手を切ったり、ケガをしないように十分注意して下さい。
- ◆ 可動刃に無理な力を加えないで下さい。
- ◆ 可動刃が出ている場合はアッパーカバーが開きません。
無理に開きますとオートカッタを破損します。

8 テスト印字

本プリンタはテスト印字機能を持っています。

テスト印字では、プリンタの機能設定やテスト用の文字列などが印字されます。

- ① プリンタに感熱紙がセットされ、電源が OFF になっていることを確認して下さい。感熱紙がセットされていない場合は「4 感熱紙のセット方法」に従って感熱紙をセットした後、プリンタの電源を OFF にして下さい。
- ② FEED スイッチを押したまま、プリンタの電源スイッチを ON します。プリンタの初期化終了後 (POWER ランプが点灯、ERROR ランプが消灯後) に、FEED スイッチから指を離して下さい。
- ③ テスト印字が開始されます。



- ④ テスト印字が終了すると、感熱紙が切断され、プリンタは印字可能状態（印字待機）になります。

9 機能設定

本プリンタは電源投入後の通信方式や感熱紙種類などをあらかじめ設定できるようになっています。プリンタの使用を開始する前に、これらの機能の設定を行って下さい。以下でその設定方法について説明します。

シリアル通信設定以外のプリンタの機能設定は FLASH メモリに保存されますので、一度設定すれば再度書き換えるまで有効です。機能設定は、メモリ スイッチ (以後、MS とする) の MS1~2 で設定を行います。

シリアルインタフェース基板には、DIP スイッチ (以後、DS とする) が実装されており、シリアル通信に関する一部の設定ができるようになっています。

機能設定以外に、以下の機能を設定できるようになっています。設定については技術説明書を参照して下さい。

- ・マーク検出方法と検出後のフィード量設定
- ・頭出しの有効/無効
- ・USB シリアル ID の設定

■MS の設定

設定内容はプリンタ内部の FLASH メモリ内の MS に保存されています。設定はスイッチ操作及びコマンド入力により設定することができます。

注 意

- ◆ 設定内容にONもしくはOFFに「固定」の表示がある場合は、必ず指示通りに設定して下さい。設定しない場合は正しく動作しない可能性があります。

ヒント

- ・ コマンド入力による機能設定については技術説明書を参照して下さい。

■機能設定モード

スイッチ操作による機能設定は、プリンタを機能設定モードにして行います。

プリンタを機能設定モードにするには、以下の操作を行います。

- ① アッパーカバーを閉じた状態で、FEED スイッチを ON したまま電源スイッチを ON にします。プリンタの初期化終了後に、アッパーカバーを一度開放→閉じ、その後に FEED スイッチを OFF します。
- ② 下記のメッセージが印字され、Error ランプ (赤色) が点滅し、設定変更モードに入ります。

**** MEMORY SW SETTING MODE ****

■設定内容の変更

機能設定モードでは、設定内容の変更を行います。

- ① MS の MS1-1 から MS1-2→ …→MS1-7 →MS1-8、MS2-1 から MS2-2→ …→MS2-7 →MS2-8 へと順次設定を行います。

操作 1 : MS の ON 設定

Error ランプ（赤色）が点滅しており、その点灯期間に FEED スイッチを押すと、ON 設定となります。

操作 2 : MS の OFF 設定

Error ランプ（赤色）が点滅しており、その消灯期間に FEED スイッチを押すと、OFF 設定となります。

各 ON/OFF 設定（1 ビット）ごとに、その設定内容が印字されます。

- ② 上記操作を 16 回繰り返すことで、MS1～MS2 の設定変更が終了します。
この時、プリンタは自動的に新しい設定内容を印字した後に、ソフトウェアリセット動作を行い FLASH メモリの内容を書き換えます（初期値を変更します）。

— ヒント —

- 途中で設定変更を中止したい場合は電源スイッチをOFFします。なお、その際途中まで入力設定された内容は反映されません。

■MSの設定内容一覧

は初期設定です。

MS1

MS	機能	設定内容	
		ON(=1)	OFF(=0)
1-8	予約	OFF に固定	
1-7	オートカッタ機能設定	無効 (Disable)	有効 (Enable)
1-6	データ制御	Xon/Xoff	DTR/DSR
1-5	ビット長	7 bits	8 bits
1-4	コードページ選択	コードページ 437 ^{*1}	カタカナ文字 セット ^{*2}
1-3	感熱紙選択 (Paper Select)	下表参照	
1-2			
1-1			

*1: RP-B10-*11J*1-03 または 05 の初期設定です。

*2: RP-B10-*11J*1-00 の初期設定です。

表 感熱紙選択

感熱紙選択(Paper Select)	MS1-1	MS1-2	MS1-3
設定禁止	ON	ON	ON
設定禁止	OFF	ON	ON
PDC85	ON	OFF	ON
Alpha400-2.1	OFF	OFF	ON
F5041	ON	ON	OFF
TF60KS-E	OFF	ON	OFF
P220VBB-1	ON	OFF	OFF
PD160R	OFF	OFF	OFF

MS 2

MS	機能	設定内容	
		ON(=1)	OFF(=0)
2-8	予約	OFF に固定	
2-7	有効ドット数	512/360 dots ^{*1}	576/432 dots ^{*1}
2-6	紙幅	58mm	80mm
2-5	受信バッファ残り容量の自動応答 (USB のみ)	無効 (Disable)	有効 (Enable)
2-4	ペーパニアエンド検出	無効 (Disable)	有効 (Enable)
2-3	初期自動ステータス送信 (Auto Status Output)	無効 (Disable)	有効 (Enable)
2-2	ブラックマークセンサ	有効 (Enable)	無効／無し (Disable)
2-1	漢字コード体系 (Kanji Code)	シフト JIS コード (Shift-JIS Code)	JIS コード (JIS Code)

*1: 紙幅 80mm 設定時 / 紙幅 58mm 設定時

注 意

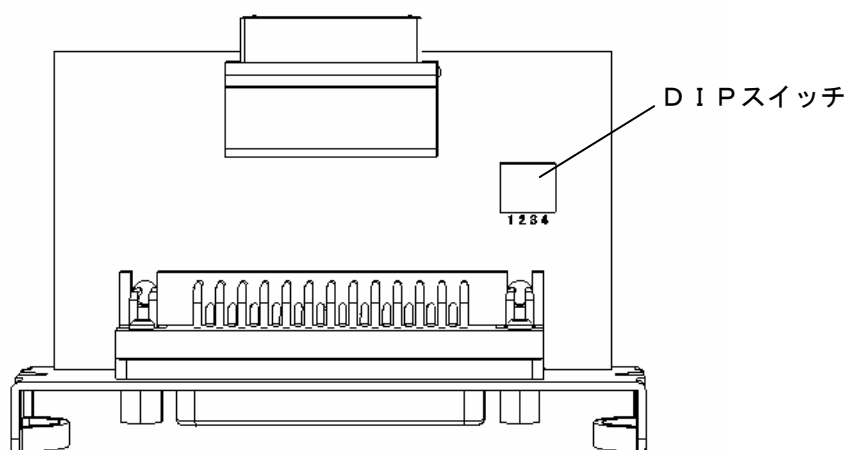
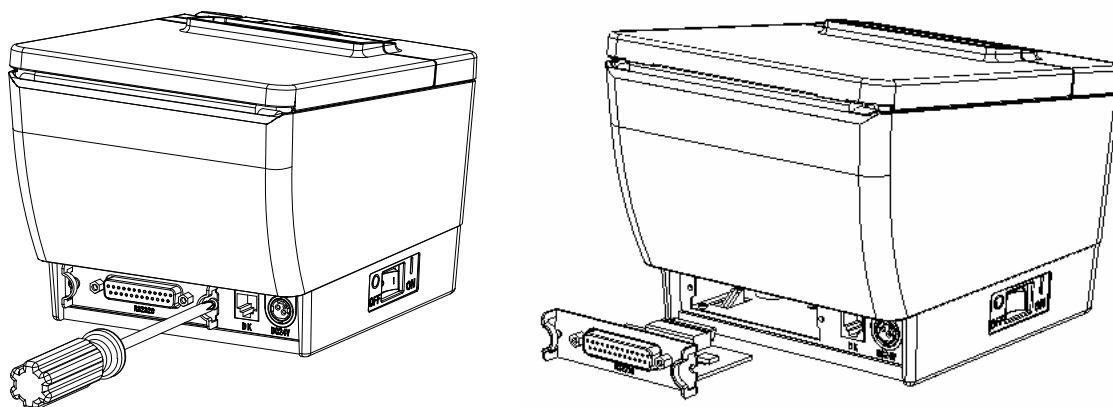
- ◆ MS2-5をONに設定した場合、一度に大量のデータ送信を行うと文字化け等の印字不良が発生する場合がありますので注意して下さい。USBインタフェース時のみ有効です。

■DS の設定(シリアルモデル)

DS はシリアルモデル専用です。

DS はシリアルインタフェース上にあります

- ① ボード取り付けねじ 2 本を外し、シリアルインタフェースボードを取り外して下さい。



- ② 各スイッチの機能は、「■DS の設定内容一覧」を参照して下さい。

■DSの設定内容一覧

 は初期設定です。

シリアルインタフェース基板DS

DS	機能	設定内容	
		ON(=1)	OFF(=0)
1-4	ボーレート (Baud Rate)	下表参照	
1-3			
1-2	パリティ (Parity)	下表参照	
1-1			

ボーレート選択

ボーレート (Baud Rate)	DS1-3	DS1-4
9600	ON	ON
19200	OFF	ON
38400	ON	OFF
115200	OFF	OFF

パリティ選択

パリティ (Parity)	DS1-1	DS1-2
なし (None)	OFF	OFF
奇数 (Odd)	ON	OFF
なし (None)	OFF	ON
偶数 (Even)	ON	ON

10 ホスト装置と接続する

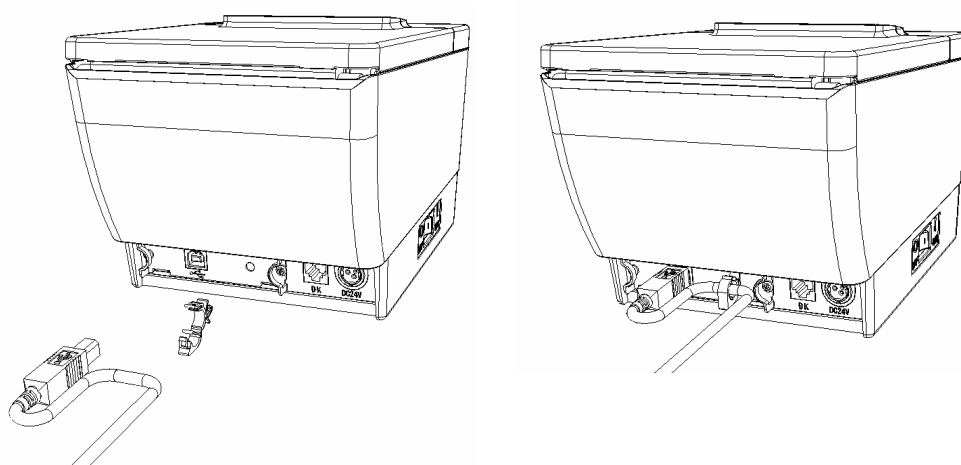
本プリンタは、インタフェースケーブルによるシリアル通信ならびに USB 通信モデルがあります。使用する通信方式によってプリンタの機能設定が異なりますので、詳細は「9. 機能設定」を参照して下さい。

シリアル通信あるいは USB 通信を行う場合は、別途インタフェースケーブルが必要になります。インタフェース仕様の詳細は「14 仕様」を参照して下さい。

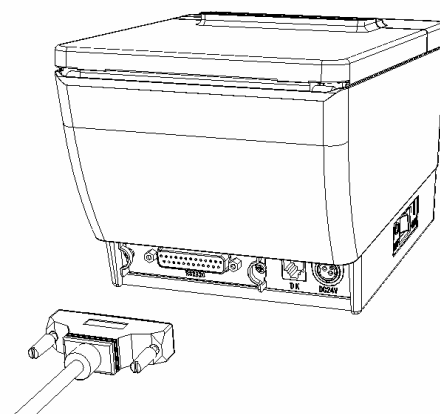
通信速度は、ソフトウェアの処理や印字内容によって、遅くなる場合があります。

■インタフェースケーブルによるシリアル／USB 通信

- ① プリンタの電源を OFF にします。
- ② プリンタ背面のインタフェースコネクタに、ご使用になりたい通信方式のインタフェースケーブルを接続して下さい。
- ③ プリンタの電源を ON にして、ホスト装置からプリンタにデータを送信して下さい。
- ④ データが正しく印字されていることを確認して下さい。



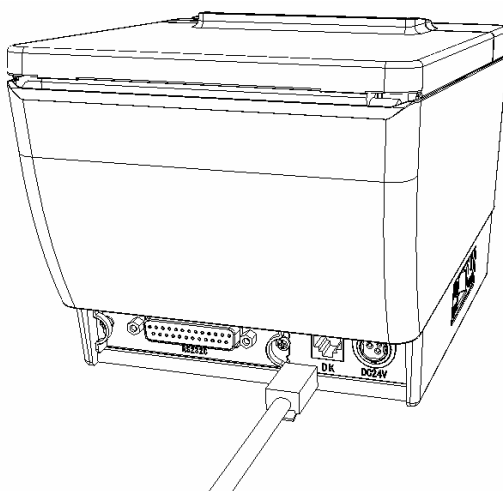
USB 通信用インタフェースケーブルと USB ケーブルロック



シリアル通信用インタフェースケーブル

■ ドロワーの接続

- ① プリンタの電源を OFF にします。
- ② プリンタ背面のドロワーキックコネクタに、ドロワーケーブルコネクタの上下を確認して接続して下さい。
- ③ プリンタの電源を ON にします。

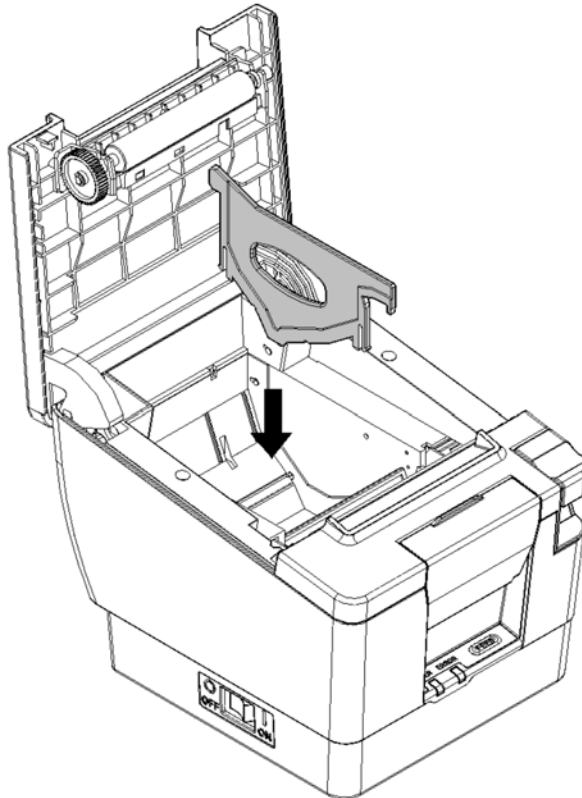


— 注 意 —

- ◆ インタフェースケーブルの着脱は必ずコネクタを持って行なって下さい。絶対にケーブルを引っ張らないで下さい。
- ◆ ドロワーキックコネクタに専用のドロワー以外を接続しないで下さい。
(電話回線を接続しないで下さい。)

11 58mm紙幅用パーテーションプレートのセット方法

- ① プリンタの電源を OFF にします。
- ② プラテンオープンレバーを押し、アッパーカバーを開けます。
- ③ 付属のパーテーションプレートを図の位置に取り付けて下さい
- ④ 「■MS の設定内容一覧」を参照して、紙幅設定 (MS2-6) を 58mm に設定して下さい。



注 意

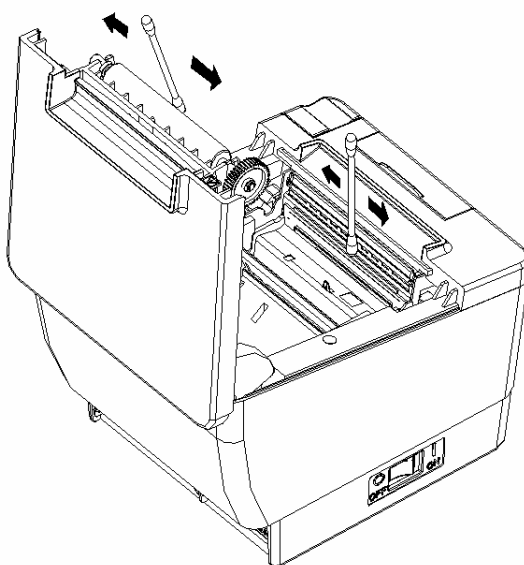
- ◆ 58mm幅の感熱紙を使用する場合、58mm専用としてお使い下さい。

12 サーマルヘッドのメンテナンス

本プリンタのサーマルヘッドは基本的にメンテナンスの必要はありません。
紙粉が堆積した時は、サーマルヘッドのクリーニングを行うと、プリンタの印字品質を長期間に渡って維持することができます。

■サーマルヘッド／プラテンローラのクリーニング

- ① プリンタの電源を OFF にして下さい。
- ② AC アダプタの AC プラグをコンセントから抜いて下さい。
- ③ アッパーカバーを開けて下さい。
- ④ 少量のエチルアルコールで湿らせた綿棒で、サーマルヘッドやプラテンローラの汚れを拭き取って下さい。
- ⑤ サーマルヘッドとプラテンローラに付着したエチルアルコールが完全に揮発してからアッパーカバーを閉じて下さい。



注意

- ◆ サーマルヘッドのクリーニングは、サーマルヘッドの温度が下がってから行なって下さい。
- ◆ サーマルヘッドは必ず綿棒などのやわらかいもので拭いて下さい。
- ◆ プラテンローラに付いているギアには触れないようにして下さい。印字品質が低下したり、故障の原因になる場合があります。

13 困った時に

修理を依頼される前に次のことを確認して下さい。

■電源が入らない

- ・ 当社指定の AC アダプタを使用していますか。
- ・ AC ケーブルと AC アダプタは正しく接続されていますか。
- ・ AC アダプタとプリンタは正しく接続されていますか。

■何も印字されない

- ・ インタフェースケーブルは正しく接続されていますか。
- ・ インタフェースケーブルの仕様は合っていますか。
- ・ プリンタとホスト装置との通信条件は合っていますか。
- ・ 指定感熱紙を使用していますか。また、感熱紙の表裏は正しいですか。

■ERROR ランプが点灯または POWER ランプが点滅した時

- ・ 13 ページの「ランプ表示」を参照して下さい。
- ・ プリンタの機能設定は合っていますか。

14 仕様

■ プリント仕様

項目	仕様
型名	RP-B10
印字方式	感熱方式
印字桁数 ^{*1}	紙幅80mm: 24x12ドット 48 (42 ^{*4}) 16x8ドット 72 (64 ^{*4}) 紙幅58mm: 24x12ドット 36 (30 ^{*4}) 16x8ドット 54 (45 ^{*4})
文字の大きさ (縦×横)	半角: 24ドット×12ドット、16ドット×8ドット 全角: 24ドット×24ドット、16ドット×16ドット
有効ドット数	紙幅80mm: 576ドット (512ドット ^{*4}) 紙幅58mm: 432ドット (360ドット ^{*4})
ドット密度	8ドット/mm
紙幅/印字幅	80mm/72mm (80mm/64mm ^{*4}) 58mm/54mm (58mm/45mm ^{*4})
印字速度	最高200mm/秒
切断方式	スライド方式
切断種類	パーシャルカット: 中央1点残し
動作温度	5～45℃
相対湿度 ^{*2}	10～90%RH (紙厚: 65～75 μ m、結露しないこと) 35～85%RH (紙厚: 上記以外、結露しないこと)
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	150×185×139.5mm ^{*3}
質量	約1.3kg (感熱紙を除く)
入力電圧	DC24.0V $\pm$ 5%

*1: 半角文字、文字間スペース0ドット時

*2: 各温度での保証可能湿度は技術説明書を参照

*3: 突起部を除く

*4: MS2-7にて512/360ドットを選択時

■ 指定 AC アダプタ仕様

(オプション製品)

項目	仕様
型名	PW-A2421-W1
入力電圧	AC100-240V、50/60Hz
定格出力	DC24.0V、2.15A
動作温度	0～50℃
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	135×70×34.5mm ^{*1}
質量	約400g

*1: ケーブル部を除く

■ インタフェース仕様

シリアルインタフェース仕様

項目	仕様
同期方式	非同期方式
ボーレート	9600、19200、38400、115200bps
データ長	7、8ビット
パリティ	なし、偶数、奇数
フロー制御	Busy (DTR/DSR)、Xon/Xoff

・コネクタの信号配列

端子番号	信号名	I/O
1	FG	—
2	TxD	O
3	RxD	I
4	RTS	O
6	DSR	I
7	GND	—
20	DTR	O

USBインタフェース仕様

項目	仕様
バージョン	Ver 2.0準拠
プリンタデータ転送モード	バルク転送（12Mbps）

・コネクタの信号配列

端子番号	信号名
1	Vbus
2	D-
3	D+
4	GND

■法規制適合表

以下の国の法規制に適合しています。

製品の適合国は、下表をご確認のうえ適合している国でのみご使用下さい。

○：法規制に適合

仕向け先 ^{*1}	RP-B10	PW-A2421-W1 ^{*2} (指定 AC アダプタ)
日本	○	○
USA	○	○
カナダ	○	○
EU、EFTA	○	○

*1: 記載国以外での使用可否は弊社営業までご確認ください。

*2: 仕向け先により規制適合 AC ケーブルが異なります。指定 AC ケーブル対応表をご確認ください。

■指定 AC ケーブル対応表

指定ACアダプタ（PW-A2421-W1）用

仕向け先	型名 ^{*1}	メーカー
日本	CB-JP03-20A	SII
USA、カナダ	CB-US03-20A	SII
EU、EFTA	CB-CE03-20A	SII
英国	CB-UK02-20A	SII

*1: 記載の仕向け先以外ではご使用できません。

15 オプション製品、消耗品構成

■ オプション製品

名称	型名
指定ACアダプタ	PW-A2421-W1
指定ACケーブル ^{*1}	
日本向け	CB-JP03-20A
USA、カナダ向け	CB-US03-20A
EU向け、EFTA向け	CB-CE03-20A
英国向け	CB-UK02-20A
壁掛け用キット	WLK-A01-1
縦置き用キット	VTK-A01-1

^{*1}: コンセントの形状は国によって異なりますので、事前にご確認下さい。

■ 指定感熱紙^{*1}

型名	メーカー名
TF60KS-E	日本製紙
PD160R	王子製紙
PDC85	王子製紙
P220VBB-1	三菱製紙
F5041	Mitsubishi Hi-Tech Paper
Alpha400-2.1	Appleton

^{*1}: 弊社ではお取り扱いしておりません。

指定感熱紙以外の感熱紙をご使用になった場合、印字品質やサーマルヘッドの寿命を保証できない場合があります。



セイコーインスツル株式会社

プリントシステム事業部

千葉県千葉市美浜区中瀬 1-8 〒261-8507

電話番号：043-211-1212（直通） ファクシミリ：043-211-8037

ホームページ：<http://www.sii-ps.com>

大阪支店

大阪府豊中市新千里西町 1-1-4 千里中央ツインビル別館

〒560-0083

電話番号：06-6871-9483（直通） ファクシミリ：06-6871-9474

◎この取扱説明書の内容は、製品の改良に伴い、予告なしに変更することがあります。
